

市民提案型協働事業実施計画書

協働事業名	心を込めた花で明るい街づくり		
事業目的 (現状、課題及び提案理由等)	“心を込めて育てた花で明るい街にしましょう”を合言葉に市民のオリンピック・パラリンピックへの関心度を増進させて街の活性化に繋げよう。子どもから高齢者、障がいのある人達が楽しく元気に参加活動し地域コミュニティ、助け合い、環境美化に努め明るい街、心豊かな街を創り上げましょう。		
事業内容	未来を担う子ども達、若い人達、一生に一度の世紀の祭典に関わることは大いに意義深い。花は生き物である。水やりはもちろん、光、空気、そして何より愛情が大切である。丹精込めた花はきれいに咲く、学校での育成期間中、熱心に観察しよう。プランターで苗から花を育成する17の各学校へは指導、観察等でおもてなし隊会員が定期的に訪問する。同時に本会としてもオリンピック、パラリンピックの精神、内容の理解を深める機運醸成、啓発活動を行い、交流を深めてゆきたい。尚、プランターには学校名等のシールを貼り付ける。駅前広場に移動後、多くの市民に関心をもってもらいたい。		
役割分担	団体:①各学校に対し事業の主旨説明 ②プランター、培養土、花の苗、種の手配、③運搬、④水やり等の管理 ⑤美化活動:毎月定期的実施 ※特定の人に限らず多くの市民で見守りたい	本事業は市内の学校の児童・生徒が学校で花を栽培育成することに意義がある。学校は地域のシンボルである。そのことを大いに発信し三者連携(学校・家庭・地域)一体となった活動でありたい。 行政:①広報活動:広報わこう他②各学校に対し事業の主旨説明実施③プランター設置場所等の指示指導④学校⇄駅前広場に移動の際、運搬作業協力⑤設置後の水やりの水供給口の設置検討	
協働の必要性	団体:半世紀余に一度行われる世紀のスポーツ祭典を機に子どもから高齢者、言わば市民総ぐるみで活動参加して街の活性化に繋げる	行政:埼玉県で行われる4競技を成功裏に開催するためのオリパラ県推進委員会の副委員長に和光市長は任命されている。市は機運醸成、啓発活動を積極的に行い市民も楽しく行動参加し街の活性化に繋げる。	
年間スケジュール	本プロジェクトは学校との連携が重要である。学校の理解・協力・教育的配慮等、教育委員会・学校と十分な打ち合わせ、段取りをとっていききたい。 (スケジュール表は別紙)		
事業の実施体制(関係者、有資格者)	・プランター総数は120個、1個のプランターに花苗5株程度 ・各学校にプランター5個×17校=85個 ※希望校に+α ・各学校に事前アンケート(希望プランター数、希望花苗、啓発事業等)を行い、希望に沿うよう配分を調整する。 各学校での作業実施の際、PTA、地域の人たちにも参加協力の声掛けをする。 ・駅前広場に移動後の水やり作業等は4人1組を3班編成し三日毎に作業実施する。		
協働の成果	団体:おもてなし隊は7月24日発足したオリパラ推進委員会の一員。本事業を機に他団体と連携運動したい。	市民:近く完成する駅ビル、改修される駅前広場、心を込めた花プランター……和光市の表玄関口は生き返る	行政:オリパラ組織委員会、埼玉県、朝霞市、新座市に対して最小限の任務遂行
	大きく捉えるならば三者(団体、市民、行政)の連携・連働の結果が成果ではないでしょうか。行政はいわば市民の委託を受けた執行機関だが、市民は要望するだけではなく、自分たちの生活・環境(地域)をより良くするため、自分たち(団体)で考え、それを行政と協力し実行することで、より現実的な快適な生活環境・空間が創られる。それぞれの成果は先ずそれぞれが考え評価し発表、関係者の協議を加え政策として次につなげていく事が大事と考える。		

様式第4号一その2

成果指標	プランターで花を育成するにあたり事前に各学校に数量、花の種類等のアンケート調査を行うが終了後に再度アンケート調査でこの事業に対する意見等をお聞きしたい。 今回の提案事業はプレゼンテーションの画像(実施前・実施後)を見れば一目瞭然だが本来の目的は人それぞれの内面の積み重ねであり目に見える形で成果を判断できるものではない。長い目で和光市の発展と一緒に考え真の成果を期待したい。
事業と関連する団体の特徴及び活動実績	プランターで花を育てる17校は小中学生、高校生、障がいのある人等、年齢内容が夫々異なるが親しみのある対応で夫々明るく楽しく活動を共にしたい。今回の協働事業提案について9月中旬から10月上旬にかけて全17校に主旨説明のために学校長(一部事務局長)に訪問面会したが学校側は賛同賛成で期待感も得られた。障がいのある人たちが元気に社会活動するための支援をしているシャローム大学が10月26日実施したオープンキャンパスでおもてなし隊は「オリンピック・パラリンピックを知ろう」と題して20人対象に講座を開催した。講座終了後に全員で駅前広場に移動して雑草取り、ごみ拾い等の美化運動を展開した。 17校の内訳: ◎和光市内の9小学校、3中学校、2高等学校、2特別支援学校 ◎一般社団法人福祉教育/シャローム大学校
事業終了後の展望	事業終了後に花プランターを各学校の希望にそって移送し季節の花々を植えてレガシーとして継承してもらいたい。自分たちが育成した花々が国内外から多くの観戦客を歓迎しお迎えできた喜びは生涯忘れることはないでしょう。17校以外で花プランターを活用したい団体等には連携・連働したい。これを機に行政・各団体と連携し市内各地域にプランターに花苗を植栽設置「明るい街づくり」に繋がりが広がっていくように……。

様式第4号の年間スケジュール

年間スケジュール

年 月	項 目	内 容	美化運動、委員会等
元年8月	提案書作成準備	8月8日の説明会に3人が参加、その後、作成準備	
～	提案書作成	委員会で相談、検討しながら書類作成、プレゼンテーション⇒1次審査⇒2次審査	
元年11月	提出⇒プレゼンテーション		
12月中旬	決定通知	関係機関に連絡、挨拶	
	学校教育課	実施方法スケジュール・アンケート内容等を協議	
2年 1月中旬	校長会で主旨説明	校長会で小中学校に連絡アンケート配布	
2月中旬	アンケート回収	実施について学校教育課と協議	
2月下旬	実施要項、資材検討	プランター、培養土、花苗、肥料	
3月初旬	学校説明会	推進委員会、教育委員会共催	
4月	実施講習会・資材配布	各校担当者招集し実施講習会⇒資材配布・植え付け	委員会、美化運動、
5月	各校で育成・啓発	植え付け作業⇒育成 :PTA、地域の人たちも参加	委員会、美化運動、
6月	各校で育成・啓発	各校を巡回して状況確認	委員会、美化運動、
7月	6月後半:プランター移動	植え付け後60日で開花、トラックで現地へ運搬	委員会、美化運動、
8月	7月上旬～9月中旬: 水やり作業	3日間に1日、4人ペアで水やり作業	委員会、美化運動、
9月			委員会、美化運動、
10月			委員会、美化運動、
11月	10月上旬:プランター移動	各校へトラックで移動運搬⇒その後、各校で季節の花に切り替え作業	委員会、美化運動、
12月	季節の花に切り替え	皆の協力で多くの人たちを喜ばせた花プランターは今後、季節の花を植え付けて大事に育てながら楽しもう！！ 世紀のスポーツの祭典2020オリパラにボランティア活動参加したことは生涯の思い出になるでしょう。半世紀後に再びオリパラが開催される時には今回を踏まえて実施活動しましょう！！	委員会、美化運動、
令和 3年3月			委員会、美化運動、
2月			委員会、美化運動、
3月			委員会、美化運動、
4月			委員会、美化運動、
	報告書作成⇒提出	3月31日までに提出	